

2025 年 7 月 2 日

役員・教職員各位

ハラスメント相談室
（事務局：コンプライアンス推進室）

ハラスメント防止関連研修の受講推進について

本法人における 2024 年度のハラスメント相談実績は、相談件数 37 件、ハラスメント調査実施件数 5 件（部局調査委員会対応を含めると 6 件）、調査の結果 2 件（部局調査を含めると 3 件）がハラスメントと認定されました。旧法人時代から比較できる記録上で、過去最悪水準となりました。

相談内容の多くはパワハラ・アカハラが占めつつ、他にセクハラ、マタハラも件数としては少ないながらも深刻な事案として持ち込まれ、その一部がハラスメントと認定されるなど、ハラスメント行為の認識を含め、法人の全構成員に対して改めてハラスメント防止につき周知徹底が必要な事態となっています。

つきましては、学内ポータル又は REDCap にて以下の研修をオンデマンド型で提供しておりますので、未受講のものがありましたら必ず受講するようお願いいたします。

なお、2024 年度監事監査において、ハラスメント防止研修については「本部役員を含む教職員への研修受講率 100%を目指すべき」とする監事意見も付されておりますので、特に本務教職員については研修受講率 100%を目指し、受講状況を定期的に所属長へ報告します。構成員は未受講の研修を速やかに受講するとともに、所属長は構成員への受講促進をお願いいたします。

記

1. 受講管理対象の研修動画

＜本務教員＞

研修名	概要
実例から学ぶアカデミック・ハラスメントの防止 （約 43 分）	大学等で発生した具体的なハラスメントトラブルをもとに、ハラスメントの定義やハラスメントトラブルを防ぐ方法について学ぶ。

＜常勤役員、本務職員＞

研修名	概要
ハラスメント防止講座 （約 30 分）	パワハラ、セクハラ、妊娠出産育児休業介護休業等に関するハラスメント（いはゆるマタハラ）とはどのようなものを指すのか、またその防止方法について学ぶ。

2. 研修動画の視聴方法

＜阿部野キャンパス勤務の教職員（本部事務機構所属の職員を除く）＞

以下リンクからアクセスください。

なお、動画受講後のアンケートに未回答の場合は、未受講扱いとなります。

教員：<https://omu.info/saitpkys>

職員：<https://omu.info/sutqocpy>

※動画は CoMedix からのご視聴いただけます。

CoMedix＞ 文書管理＞ 人事課＞ 人事担当＞ 研修＞ ハラスメント研修

＜上記以外の教職員＞

自身の OMUID に紐づく Microsoft アカウント（例：OMUID@omu.ac.jp）でログインし、以下の動画を視聴後、動画の最後に表示されるアンケートに回答してください。（アンケート未回答の場合は未受講扱いとなります。）

教員：[実例から学ぶアカデミック・ハラスメントの防止](#)

職員：[ハラスメント防止講座](#)

※動画が再生できない、アンケートに回答できない、などのトラブルは gr-jinj-harassment@omu.ac.jp までお問い合わせください。

3. その他

学生向けには UNIPA を通じて以下の研修動画を案内する予定です。

研修名	概要
学生・大学院生のためのアカデミックハラスメント防止研修 （約 37 分）	大学等で発生した具体的なハラスメントトラブルをもとに、ハラスメントの定義やハラスメントトラブルを防ぐ方法について学ぶ。

他にもハラスメント防止に関する研修動画コンテンツを多数掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

[学内ポータル](#) → [コンプライアンス推進室](#) → [05_研修・講演動画（内部統制、ハラスメント、人権問題委員会）](#) → [02_ハラスメントに関する研修・講演動画](#)

4. 問い合わせ先

＜阿部野キャンパス勤務の教職員（本部事務機構所属の職員を除く）＞

阿部野キャンパス事務局 人事課人事担当 gr-a-jinji-kensyu@omu.ac.jp

＜上記以外の教職員＞

コンプライアンス推進室 gr-jinj-harassment@omu.ac.jp

5. （参考）2024 年度監事監査結果における監事意見

- ・ハラスメント相談室の専門員を増員すべきである。
- ・本部役員を含む教職員への研修受講率 100%を目指すべきである。
- ・ハラスメントの事例集を作成し、グレーゾーン範囲をある程度明確に周知する方法を検討すべきである。
- ・学生間のセクハラ事案もあり、学生も e-Learning 等で研修を実施できるようにすべきである。